

## セグメント情報

### 1 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、当行及び連結子会社15社（前連結会計年度13社）で構成され、銀行業務を中心に、リース業務等の金融サービスに係る事業を行っております。

従いまして、当行グループは、金融業におけるサービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行っております。

なお、「銀行業」は、当行の銀行業務と連結子会社の銀行事務代行業務、信用保証業務、クレジットカード業務、有価証券投資業務、投資ファンドの運営業務を集約しております。

「リース業」は、連結子会社のいよぎんリース株式会社において、リース業務等を行っております。

### 2 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

### 3 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	102,817	15,265	118,083	2,901	120,985	—	120,985
セグメント間の内部経常収益	574	489	1,063	1,624	2,688	△ 2,688	—
計	103,392	15,754	119,147	4,526	123,673	△ 2,688	120,985
セグメント利益	34,757	581	35,338	779	36,118	△ 18	36,099
セグメント資産	7,074,411	56,719	7,131,131	9,793	7,140,924	△ 44,290	7,096,633
セグメント負債	6,444,526	37,150	6,481,676	3,291	6,484,967	△ 34,637	6,450,329
その他の項目							
減価償却費	4,260	38	4,298	70	4,369	△ 120	4,249
資金運用収益	77,349	83	77,432	3	77,436	△ 122	77,314
資金調達費用	7,495	127	7,622	4	7,627	△ 109	7,517
特別利益	3	13	17	—	17	—	17
(固定資産処分益)	(3)	(13)	(17)	—	(17)	—	(17)
特別損失	324	0	324	0	324	—	324
(固定資産処分損)	(120)	(0)	(120)	(0)	(121)	—	(121)
(減損損失)	(203)	—	(203)	—	(203)	—	(203)
(金融商品取引責任準備金繰入額)	—	—	—	(0)	(0)	—	(0)
税金費用	10,697	86	10,784	239	11,024	△ 3	11,020
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	4,782	136	4,919	29	4,949	△ 276	4,672

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業であります。

3. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△18百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△44,290百万円は、セグメント間取引消去であります。

(3) セグメント負債の調整額△34,637百万円は、セグメント間取引消去であります。

(4) 減価償却費の調整額△120百万円、資金運用収益の調整額△122百万円、資金調達費用の調整額△109百万円、税金費用の調整額△3百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△276百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	107,879	16,301	124,180	2,106	126,286	—	126,286
セグメント間の内部経常収益	537	483	1,021	2,160	3,181	△ 3,181	—
計	108,416	16,784	125,201	4,266	129,468	△ 3,181	126,286
セグメント利益	28,362	192	28,554	71	28,626	32	28,658
セグメント資産	7,145,436	55,124	7,200,560	11,166	7,211,726	△ 46,071	7,165,655
セグメント負債	6,512,183	36,964	6,549,148	4,646	6,553,794	△ 36,466	6,517,327
その他の項目							
減価償却費	4,484	32	4,517	68	4,586	△ 156	4,430
資金運用収益	78,126	106	78,232	4	78,237	△ 117	78,119
資金調達費用	11,555	124	11,679	0	11,680	△ 104	11,575
特別利益	5	—	5	—	5	—	5
(固定資産処分益)	(5)	—	(5)	—	(5)	—	(5)
特別損失	533	—	533	1	535	—	535
(固定資産処分損)	(302)	—	(302)	(0)	(303)	—	(303)
(減損損失)	(231)	—	(231)	—	(231)	—	(231)
(金融商品取引責任準備金繰入額)	—	—	—	(0)	(0)	—	(0)
税金費用	8,265	59	8,325	51	8,376	△ 2	8,374
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	7,535	1	7,536	73	7,610	△ 83	7,526

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業であります。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- セグメント利益の調整額32百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - セグメント資産の調整額△46,071百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - セグメント負債の調整額△36,466百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - 減価償却費の調整額△156百万円、資金運用収益の調整額△117百万円、資金調達費用の調整額△104百万円、税金費用の調整額△2百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△83百万円は、セグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。